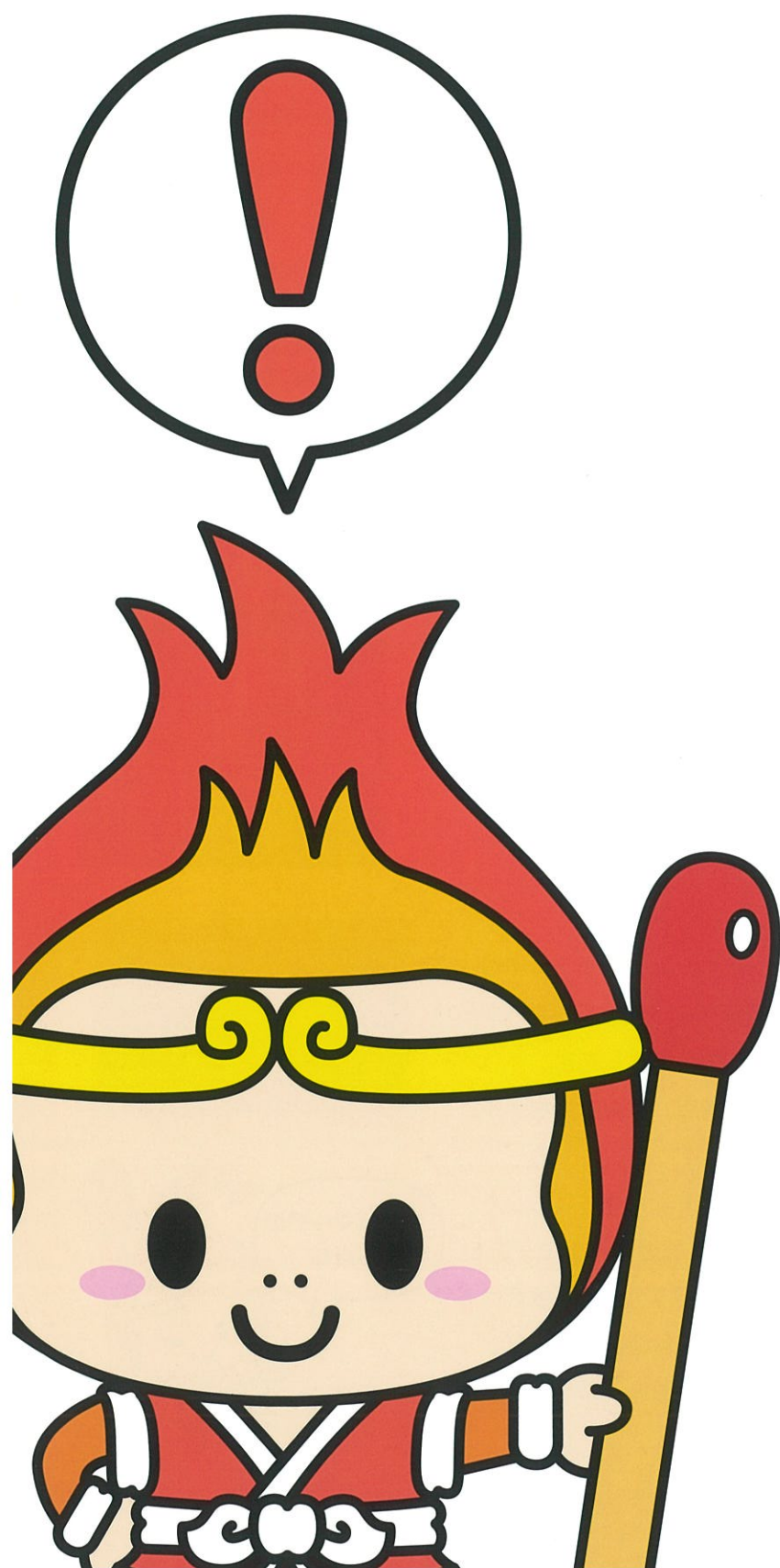




マ
ッ
チ
の
話



マッチの歴史

マッチは1827年にイギリスの薬劑師、ジョン・ウォーカーによる摩擦マッチの発明から始まります。これは19世紀最大の発明でしたが、その後市場に流通した黄燐マッチには毒性があり、35度くらいの温度でも自然発火する黄燐を使用した危険なものでした。そこで、1852年にスウェーデンで発火部を頭薬と側薬に分離した現在の「安全マッチ」が開発されました。健康被害が社会問題となり黄燐マッチは1922年には世界的に製造禁止になりました。

日本では、清水誠が初めて工業的にマッチの生産を始めた人でマッチの始祖といわれています。マッチの製造法を研究した清水誠が1875年（明治8年）に試作に成功し、翌年に東京本所の柳原町に「新燧社」を設立。マッチ製造は国の輸出政策として始動し、各地でマッチの製造が始まります。東京から名古屋、大阪と関西にも広がり最終的には兵庫県がマッチ製造の中心地となりました。兵庫県で生産されたマッチは神戸港から世界に向けて輸出され、明治から大正にかけ、日本はスウェーデン、アメリカと並ぶ世界三大マッチ生産国となりました。



清水誠

第一次世界大戦から第二次世界大戦が終わるまでの間は日本国内のマッチ産業は低迷していたのですが、戦後1950年（昭和20年）代からは日本経済も大きく発展し、マッチ需要も息を吹返します。

戦後のマッチ産業は、消費拡大を図る飲食店、喫茶店、ホテル、旅館、銀行などで広く配られるノベルティグッズとしての

「広告マッチ」の市場を作り出し、需要を大きく伸ばしました。100円ライターの登場以降、国内でのマッチ需要は減少の一途をたどっていますが、現在も海外への「広告マッチ」の輸出需要はあり特に日本のメーカーは、小ロット多品種生産への対応、クオリティの高さから欧米に輸出され、日本のモノ作りの確かさを感じます。





マッチは兵庫県の地場産業

マッチ製造が一番先にスタートしたのは東京でしたが、輸出には不便で、東京・名古屋は主に国内向け中心に、大阪・神戸は国内だけでなく、輸出に力を入れ、特に日本を代表する港がある神戸は華僑の力が絶大だったので海外輸出で大きく成功しました。

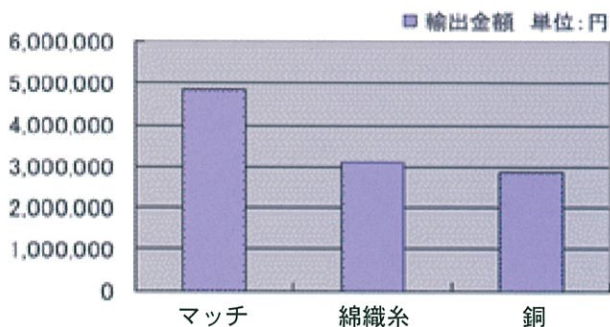
マッチ産業の黄金時代であった1892年(明治25年)ごろから大正の半ばにかけて、マッチは綿織糸、銅と並ぶ神戸港からのおもな輸出商品であり、1893年～1896年(明治26～29年)には輸出された工業製品のうち、マッチが第一位(神戸税関資料)と記録されています。

マッチ産業は、神戸や兵庫県の発展に大きく貢献した産業だったのです。

1904年(明治37年)には兵庫県の

マッチ製造業者はマッチ工場、
軸木工場、小箱工場を含めると
83社となり、92もの工場が
ありました。

神戸港の主要輸出品1896年(明治29年)



神戸がマッチ製造のメインになった理由としては下記のことあげられます。

神戸がマッチ製造のメインになった理由としては下記のことあげられます。

1. 当時 貿易が盛んであった神戸港が控えていたこと。
2. 神戸では輸出に関しては華僑の力が絶大であったこと。
3. 晴天が多い「瀬戸内海式気候」が乾燥工程の多いマッチの製造に適していたこと。
4. 豊富な労働力があったこと。

その後、神戸では各種産業が発展し、マッチ生産の中心は次第に西へと移動、姫路地域が中心となっていました。現在でも兵庫県がマッチ生産量の85%を占めています。





マッチができるまで(製造工程)

1 軸 木

軸木の原木はポプラ・アスペンで、現在はチリ・中国・スウェーデンから輸入しています。

2 頭薬調合

頭薬は酸化剤、燃焼剤、調節剤、および接着剤を混合して製造します。

3 自動マッチ製造機

この機械は、供給された軸木を自動的に揃え、機械の目板のコンベアに間隔をあけて整然とさし込み、その軸木がコンベアで移動する間にパラフィンを浸みこませ、さらに頭薬をつけて乾燥させ、40分～50分でマッチに仕上げてトレイに移します。



自動マッチ製造機

4 外箱印刷

5 箱 貼 機

印刷し、スリッター・ロールカッターで裁断した外箱・中箱シートをそれぞれ折り曲げて小箱を作り、外箱に中箱をさし込み、トレイに列べます。

6 箱 詰 機

トレイで供給された小箱が箱詰機のコンベアで移動する間に、供給されたマッチ軸木の一定本数を小箱に充填する機械です。充填した小箱は横塗り用のトレイに移します。



箱貼機

7 側薬調合

側薬は赤りん、硫化アンチモンおよび接着剤からなり、ボールミルで混合します。

8 横 塗 機

マッチ箱の入ったトレイがコンベアで移動する間に側面に側薬を塗布、赤外線で乾燥します。



箱詰機

9 包 装

マッチ箱 100個を化粧箱に入れたり、2個～12個シュリンクパックなどで包装し、段ボールに入れて出荷します。

10 製 品

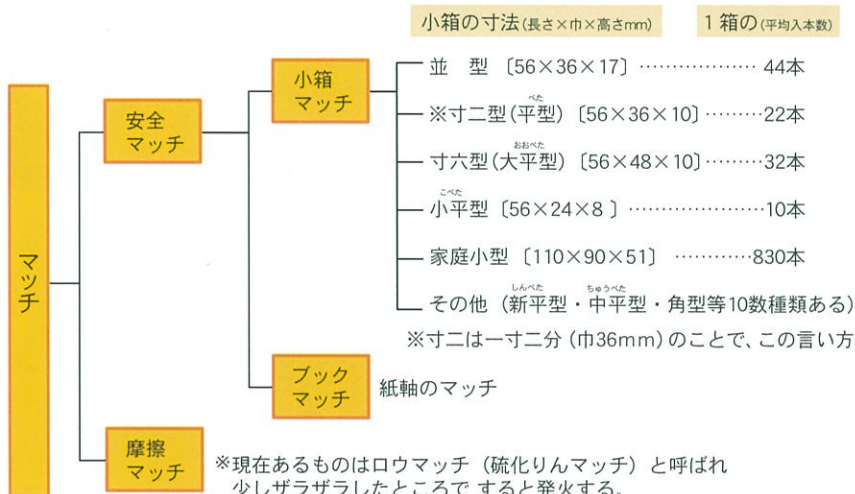
マッチってたくさんの人の手によって作られているんだね





マッチの種類

マッチの種類の多いことは日本が世界一である。多品種少量生産(たひんしゅしょうりょうせいさん)に対応できるシステムが確立しているので、世界中から広告宣伝用マッチの受注があります。現在日本のマッチ生産量の約2割は外国向けで、主としてヨーロッパ、米国に輸出しています。



※寸二は一寸二分(巾36mm)のことで、この言い方が小箱の呼び名となっている。

※現在あるものはロウマッチ(硫化りんマッチ)と呼ばれ少しザラザラしたところがあると発火する。日本では作られていない。

マッチに使われる薬品

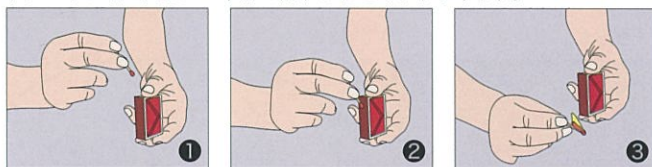
頭 薬	酸化剤	塩素酸カリウム
	燃焼剤	硫黄・松脂・膠等
	調節剤	ガラス粉・雲母・クレー粉(ねん土)等
	接着剤	膠
側 薬	発火剤	赤りん・硫化アンチモン等
	接着剤	合成樹脂
軸 木	インプル剤	第二りん酸アンモニウム(軸木燃焼後の残火を防止)
	燃焼剤	パラフィン



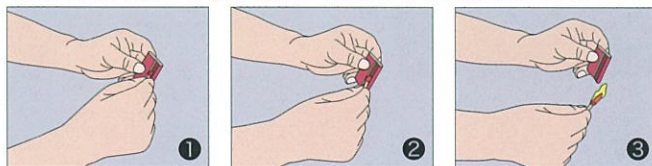
マッチのすり方

周囲に迷惑が かからないように注意する。

●小箱マッチ 図のように箱を持ち、三本指で軸木を はさみ、すり下ろす。



●ブックマッチ ふたを閉め、紙軸を はさんで持ち、折れ曲がらないようにしてする。





マッチラベルライブラリー

家庭用マッチラベル

明治・大正時代の日本のマッチラベルは、印刷技術の高さと緻密な図案により、現在もアートとして高い注目を集めています。
販売用の家庭用マッチの図柄には吉祥につながる縁起物、動物、人物、神様などが数多く見られます。

マッチの歴史を
のぞいてみよう!!



マッチって
いろんな種類が
あるんだね

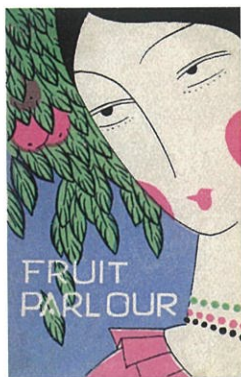




こんなデザインの
マッチ見た事ないわ!
ビックリ!!

こうこく 広告マッチラベル

めいじこうき しょうわしよき せんてん けいひんよう
明治後期から昭和初期にかけての宣伝、景品用の広告マッチです。
モダンなカフェ、レストランなど近代化されてきたライフスタイルが
ラベルからも垣間見れて、いまでは懐かしい当時の暮らしや
社会が伝わってきます。



WEBサイト「マッチの世界」では、この他にもたくさんのマッチラベルがご覧いただけます。

<https://www.match.or.jp>



マッチは環境にやさしいエコロジー商品として 再び評価されています

マッチの箱は古紙^{こし}をリサイクルして利用し、軸には
ポプラ・アスペンといった木を使用しています。
マッチの頭薬は、子供が誤って口に入れる程度では
害はありません。

使い終わった後のマッチは、プラスチックなどの
化石燃料^{かせきねんりょう}を一切使用していませんので、家庭ゴミ
として廃棄・焼却が可能です。

ゴミ処理施設で焼却され、全てが土に還るので
地球環境^{ちきゅうかんきょう}にもとても優しいエコロジーな商品です。



まめちしき 豆知識

マッチは危険物ではありません

マッチは「指定可燃物」です。消防法（第9条の4）で「市町村条例」によりその取扱い基準を定めることが決められています。マッチが可燃物に指定されているかどうかは市町村によって異なります。指定されている（神戸市、大阪市、名古屋市等の）場合、200 kg以上のマッチの貯蔵などには表示や届け出の義務付けが定められています。

マッチは安全な着火道具です

現在日本で製造されている「安全マッチ」は、頭薬を箱の側薬に擦り付けることで着火します。マッチの発火温度は200℃以上で、自然発火の恐れはありません。

日本の文化・作法

1本1本、心のこもった「新しい火」をつけるマッチは、神仏灯火用などに無くてはならないものです。





マッチの普及・啓発

発火しないマッチを使ったオブジェ作りイベントの開催



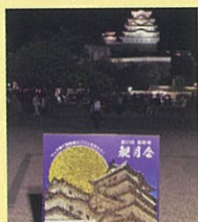
Kobe Love Port みなとまつり（ポートタワー）



姫路カレーフエスティバル（銀の馬車道）



姫路城観月会（姫路城）



オープンカスタムス（神戸税関）

マッチラベル展の開催・出展



みゆき通りステーション



展覧会への協力



たばこ塩の博物館
（会場および物販）



イベントへの出店・マッチの販売



PTA全国研究大会神戸大会
（神戸国際展示場）



ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバル
in 北播磨@三木総合防災公園



ANAブルークリスマス
（大阪・ブリーゼタワー）

マッチの振興・地場産業としての発信



野村證券神戸支店での展示



神戸開港150年記念広告
（神戸新聞全面2017.5.16）



東京インターナショナル
ギフト・ショー出展



マッチ専門ショップ「マッチ棒」



きたのこうぼう

神戸の体験型観光スポット「北野工房のまち」にある日本でここだけのマッチ専門ショップ「マッチ棒」では、マッチの歴史や製造行程などをパネルや映像でご紹介しつつ、レトロなマッチ、ポップでカラフルなマッチ、マッチのデザインを取り入れたトートバック、雑貨など様々なアイテムを販売しています。また、「北野工房のまち」ならではの体験メニューとしてお客様ご自身が作れる「デコマッチ箱」「塗り絵マッチ」「マッチデコチェン」などが人気となっております。皆様のご来店をスタッフ一同笑顔でお待ちしております！

みんなで一緒に遊びに来てね!!



マッチハウス「マッチ棒」

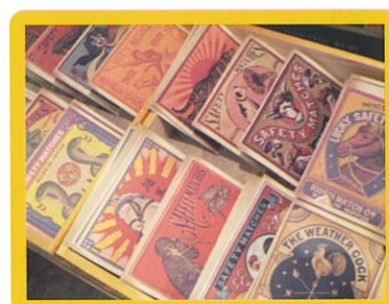
神戸市中央区中山手通3-17-1
北野工房のまち 202 〒650-0004
TEL 078-221-5561

<https://www.match.or.jp/matchbou/>

運営：一般社団法人 日本燐寸工業会

■三宮からシティーループバスで1駅目

■各線三宮・元町駅より徒歩約12分



体験メニュー（手づくりマッチを作ろう！）



マッチデコチェン

大人気！ スチール缶マッチにラインストーンやパーツでデコレーション！

価格 1,000円（スチール缶 1個）（税別）

予約 8名以上は要予約

スタンプマッチ棒

マッチの頭葉に色々な絵柄のスタンプを押してオリジナルマッチ棒を作ります

価格 500円（マッチ 2箱）（税別）

予約 5名以上は要予約



デコキャンドルグラス

マスキングテープやシールなどを使ってオリジナルキャンドルグラスを作ります。「マッチ棒」特製マッチ 2個付き。

価格 1,000円（グラス 1個）（税別）

予約 8名以上は要予約



塗り絵オンリーワンマッチ

お子様も大人も楽しく作れる！色鉛筆で彩色して作るオリジナルマッチ

価格 500円（マッチ 3箱）（税別）

予約 8名以上は要予約



デコマッチ箱

マスキングテープなどを使い、オリジナルマッチ箱を作ります。

価格 500円（マッチ 2箱）（税別）

予約 8名以上は要予約

スマホdeフォト缶マッチ

スマホで撮影した写真であなたのオリジナル缶マッチが作れます。

価格 500円（缶マッチ 1個）（税別）

予約 4名以上は要予約





一般社団法人 日本燐寸工業会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-12

TEL 078-341-4841 FAX 078-341-4371

<https://www.match.or.jp>